令和5年度第1回あわらし郷土歴史資料館運営協議会会議録

日 時：令和5年5月23日（火）
午後1時30分から
場 所：金津本陣 IKOSSA 3階
市民文化研修センター研修室1

（日程）

1. 文化学習課長 あいさつ
2. 議題
（1）令和5年度郷土歴史資料館事業の計画について
3. 報告
（1）令和4年度郷土歴史資料館事業報告について
4. その他

（出席委員）

水野 和雄 吉田 純一 長野 栄俊
宇都宮 高栄 能美 進 寺井 玲子
荒木 秀子

（欠席委員）

なし

（事務局）

文化学習課長 早見 孝枝 郷土歴史資料館館長 松永 都美
郷土歴史資料館副館長 九千房 英之 郷土歴史資料館 角 衣利奈

【文化学習課長 あいさつ】

【議題1】令和5年度郷土歴史資料館事業の計画について

（事務局説明）

委員長：何か意見や質問はありますか。

委員：新幹線延伸開業予定時に何も展示等を行わないのか。

事務局：開業時に合わせ予定していた狛犬展の予算がつかず来年度行う予定だ。それに関連して吉崎展は再来年度の計画になりそうだ。

委員長：狛犬展は予算必要か。

事務局：美術専用車やパネル、チラシ等の予算が必要である。今年度資料館活動を抑えたの

は、文化財保存活用地域計画の策定が事業課題となるためである。現在の職員数で両方の事業を平行して行うことは難しい。ただ、ご意見いただいた通り新幹線延伸開業時に何も展示を行っていないのは見直さなければならない。ご意見をお聞かせ願いたい。

委員：あわら市として延伸開業に向けたイベントはどんな行事を予定しているのか。

事務局：関連する部署からイベント内容に関する報告はまだない。

委員長：あわらといえば、吉崎やあわら温泉がメインとなるため、資料館では「吉崎展」などを開催していただきたい。また、資料館の事業を行うための資料館職員数が少ないと感じるため、追加で増えた資料館事に対応しきれないのではないかと。

事務局：今年度から資料館専任の館長が赴任したが、学芸員が一名退職したことにより展示等の事業が厳しく、現在の体制では調査や研究の成果を「吉崎展」で届けることが難しい。できる範囲の中であわらの歴史や文化をアピールしていきたい。

委員：金津祭の山車や本陣飾り物を芦原温泉駅前に置いて観光客にアピールしてはどうか。山車や本陣飾り物は誰が管理しているのか。

事務局：本陣飾り物の管理事務局は市商工会が担当しており、商工会との窓口は市商工課が行っている。過去に本陣飾り物を駅に置いていたことがあるので、設置できるか確認する。

委員：山車は金津祭保存会が管理担当しているが、借り物なので置くとなると許可を得なければならない、費用もかかる。

委員長：駅に降りた人が郷土歴史資料館に行きたくなるような仕掛けを用意しなければならないと思う。

委員：駅から資料館の経路に本陣飾り物を三カ所設置して誘導するように工夫している。

委員長：観光客に本陣飾り物がどの場所に置いてあるのか宣伝をした方がいい。いつ、どうすれば本陣飾り物を観ることができるのかパンフレットを設置するなどアピール方法を考えたらどうか。

事務局：駅に本陣飾り物を置いてアピールし資料館へ誘導させ、常設展示であわら市の文化や歴史を紹介するという流れがくめればいい。

委員：駅から資料館までの地図を用意し本陣飾り物の場所を示したらどうか。

事務局：本陣飾り物が置いてある略地図はあるが分かりにくいので改める必要がある。本陣飾り物の写真が掲載されていないので、展示している本陣飾り物の写真を掲載するなど工夫できると思う。

委員：資料館に来館いただくことが第一なので、新幹線延伸開業時に何も展示がないのは厳しいと感じる。常設展示に芦原温泉の写真を展示するなど予算をかけずにイベントを作る方法があると思う。または学芸員のイチオシ展を年度末に移動させるのも一つの方法ではないか。

事務局：写真展や寄贈された切符を展示するのも一つの方法だが、あわら市ならではの資料を展示できたらいい。

委員：資料館映像コーナーの金津祭と本陣飾り物の動画や資料館のアピール動画を芦原温泉駅でも映し出したらどうか。

事務局：大画面で映すことができるか確認する。

委員長：年間スケジュールのイベントは均一に開催している形をとった方がいいので、ふるさと講座は連続開催ではなく感覚を空けて開催してはどうか。各テーマ展は二ヶ月ずつ行っているが、イチオシ展は館蔵品なので、開催期間を延長したらどうか。

事務局：検討します。ただ、ふるさと講座は開催する日の間隔が空くと周知したイベントを忘れる可能性があるため、連続して開催した方がいいと考えている。

委員：本庁では出先機関がどんな事業を行っているのかわからないことが多いので、メディアに取り上げられた内容を事業報告でまとめて記録し、組織内へのアピールに繋がってほしい。また、SNS を駆使して資料館の宣伝やイチオシ展の資料のアピールにも努めてもらえたらと思う。

事務局：はい、ありがとうございます。

委員長：何か他に質問はありませんか。ないようなので、次の議題である常設展示のリニューアルについて事務局の方から説明をお願いします。

（事務局説明）

委員長：何か意見や質問はありますか。

委員：江戸時代に金津奉行所を取り入れてほしい。

委員長：常設展示リニューアルの予算はついているのか。

事務局：タペストリーやパネル等の四時代分の予算はついた。今年度に前半四時代分を実施し、来年度に残りの時代の予算を要求したい。

委員長：古墳時代に横山古墳群、明治時代に滝瓦を入れてほしい。配置図の中に常設展示やイベント展示ゾーンの動線を入れてほしい。

事務局：現在、常設展示に滝瓦のコーナを設けているので、パネルを追加する形で取り組みたい。常設展示から観る場合は、明治時代から遡っていく動線になり、本陣飾り物を観た後に常設展示を観る場合は縄文時代から観ていく動線になる。

委員長：本陣飾り物の後方部を活用して何か展示したらどうか。

事務局：企画展示ゾーンと奥の展示室の間が離れてしまっているの、企画展示ゾーンを見て引き返してしまう人がいる。本陣飾り物の前方を遮断して企画展示の展示室として使う方法も考えている。

委員：縄文時代から明治時代の人の動きや暮らし、環境を立体化して展示できないか。

事務局：パネルで見せるのは難しい。また別の方法を検討したい。

【報告1】令和4年度郷土歴史資料館事業報告について

（事務局説明）

委員長：何か意見や質問はありますか。

委員長：テーマ展や講座の中止、延期があるとイベントメニューを作れない。資料館への信頼がなくなってしまうため、中止とした場合は代替りのイベントを行ってほしい。

委員：古墳見学会は定員20名となっているが定員を増やしてほしい。

委員：資料館の入場者数の来館目的は何か。アンケートをとっているのか。

事務局：講演会の帰りや図書館利用の際に立ち寄った人、展示の観覧、観光等色んな目的で来館する。アンケートを行っていないため、詳細は不明である。

委員：常設展の観覧目的のため来館する人はいるのか。

事務局：図書館利用後に観覧する人は常設展メインで観る人が多い。

委員長：块状耳飾の展示期間の予定をしっかりと決めていただきたい。展示していることをアピールできない。

事務局：块状耳飾は年に2回展示している。レプリカを作成し常設展示で常時観られるようにしたい。実物資料の場合は展示していることをアピールしていきたい。

委員長：何か他に質問はありませんか。ないようなので、議事を終了します。